

日刊金属

発行所 有限会社メタル情報センター

本社 〒530-0043
大阪市北区天満2-12-3
南末広ビル3階E号
電話(06)6353-7831(代表)
FAX(06)6353-7832

東京支社 〒104-0033
東京都中央区新川1-31-8
ニックハイム茅場町
電話(03)3523-0442(代表)
FAX(03)3523-0443

購読料 6ヶ月 36,750円 前金
3ヶ月 18,900円

アルミ

2月のアルミスクラップレポートおよび3月の見通し LMEは1900-2200ドル、スクラップは前月比0~+5円予測

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

■概況:前半はG7共同声明の解釈を受けての混乱からの円高やそれに伴うG20での日本への円安牽制への警戒などマイナス材料もあったものの1月の米雇用統計で失業率が-7.9%だったことや日銀白川総裁早期辞職に伴う日本経済のファンダメンタルズ好転期待からLME現物後場買いで2113ドルと約53ドル上昇しての前半締めとなった。

後半は注目のG20でアベノミクスによる日本への名指し批判がなかったことや1月の米新築住宅販売件数やケース・シラー指数が上昇するなど好材料もあったが、金が節目の1600ドル割れをおこしたこと欧州新車販売台数が1月としては過去最低だった事、イタリア総選挙で与党が上院で過半数を取れなかった事による政局不安から暴落。3月2日現在LME現物後場が1919ドルと203ドル暴落してのスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によ

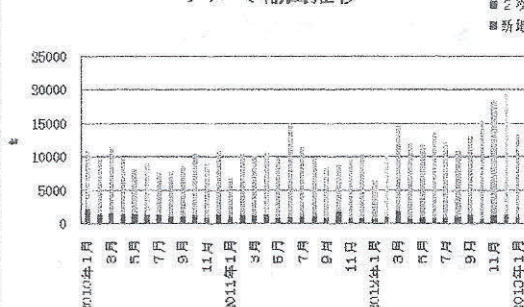
ると自動車生産台数は前年比-9.9%の75万4054台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比-12.2%の29万2399台。国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比+5%の6万9289戸であった。

貿易指標を見ると、財務省貿易統計による輸出はアルミ新地金が前月比+158%の124トン、2次合金が+2.1%の743トン、スクラップが+123.4%の1万2770トン。輸入は新地金が前年比-9.2%の13万1664トン、2次合金が-16%

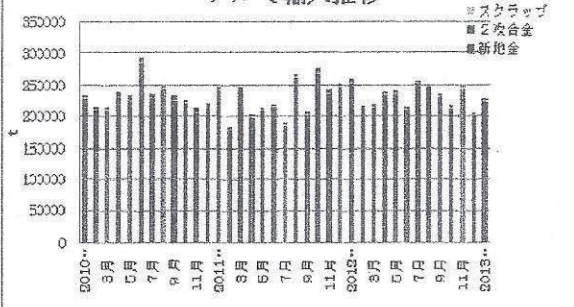
	11月	12月	1月
生産台数	76万7630台	70万2258台	75万4054台
前年比	-8.4%	-17.2%	-9.9%
販売台数	21万4429台	22万9838台	29万2399台
前年比	-3.4%	-12.9%	-12.2%
新設住宅着工数	8万145戸	7万5944戸	6万9289戸
前年比	+10.3%	+10%	+5%
輸入	11月	12月	1月
新地金	15万4904t	11万5743t	13万1664t
前年比	+28.6%	-21%	-9.2%
2次合金	9万299t	8万6923t	9万1268t
前年比	-22.7%	-14.1%	-16%
スクラップ	631t	676t	1151t
前年比	+13.1%	-11.9%	+86.5%
合金スクラップ	3091t	2302t	3296t
前年比	-45.9%	-52.5%	-43.4%

輸出	11月	12月	1月
新地金	229t	142t	124t
前年比	+37.1%	+12.7%	+158%
2次合金	1041t	1193t	743t
前年比	+45.4%	+61.9%	+2.1%
スクラップ	17139t	18153t	12770t
前年比	+95.2%	+87.3%	+123.4%

アルミ 輸出推移



アルミ 輸入推移



の9万1268トン、スクラップが+86.5%の1151トン、合金スクラップは-43.4%の3296トン。

また前月の国内指標では、日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-8.4%の13万8719トン。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は前年比-1.5%の6万2942トンであった。

■見通し:2月はイタリアのモンティ首相率いる与党が上院で過半数議席を取れなかったことによる政局不安が台頭、総選挙の可能性も残されているが現政権の緊縮財政が中止になる可能性もあり今後注目。また3月1日に米「財政の崖」問題で与野党の調整がつかず強制歳出削減の一部が実行されたものの半分以上は防衛費のためすぐにどうこうという問題でもなくマーケットも反応薄だがこちらも今後の動向に注目。

自動車生産は前年比-9.9%といまだ二桁に近い悪化、販売の方もほぼ前月と同じ減少幅の-12.2%とまだまだ減少基調。住宅関連は先月に続き5ヶ月連続増加の前年比+5% (前月比(季節調整済み)-1.9%)の6万9289戸、ただ5ヶ月ぶりに一桁増加に減少、復興需要や消費税アップ前の駆け込み需要など今後の動向に注目。

自動車関連のアルミ2次合金生産は引き続き前年比-1.5%と5ヶ月連続の減少で下げ幅は縮小し、大幅円安に伴う割高感からの国内塊回帰から需要増で減少幅縮小との見解。その他では住宅・家電需要が見込める圧延・押出品生産数は前年比-8.4%と再び悪化、ただ昨年はタイ洪水に伴う代替生産増からの比較で昨々年対比では+1.1%と上昇している。

輸出は新地金が前年比+158%の124トン、2次合金が+2.1%の743トン、スクラップが+123.4%の1万2770トンで、大幅円安や輸出が好調な韓国への輸出増との見解。輸入は新地金が前年比-9.2%の13万1664トン、2次合金は-16%の9万1268トン、スクラップは+86.5%の1151トン、合金スクラップは-43.4%

の3296トンで、地金系は大幅円安からの輸入塊の割高感から減少、スクラップは輸入塊の割高感からより安いスクラップへ原料シフトしたことによる増加との見解。

原料需給に関しては供給不足、上昇幅が減少したものの先月に続き新設住宅着工数が前年比+5%と5ヶ月連続回復の兆しあり、また最大需要家の自動車メーカーも内需の回復や円安に伴う輸入塊価格の割高感から国内塊への回帰が起っており今後は国内2次合金需要が増加するためスクラップ需要も増加するのでは。

LME価格に関しては新規材料としてのイタリア政局不安が台頭、モンティ首相率いる与党が上院で議席を過半数とれなかった事による緊縮財政の遅れ懸念や「米財政の崖問題」で強制歳出削減の一部が実行など悪材料もあるが政局不安に関しては再選挙の可能性があると、財政の崖に関しては削減の半分が国防費である事からすぐどうこう言う問題ではなく想定内との事からセンチメントがあまり悪化するとは考えておらず上値は2200ドル、下値はセンチメントが悪化しても経済指標などの好結果からのファンダメンタルズが下支えし下値は堅くから1900ドル。スクラップ価格についてはLME価格の下落を受けて多少調整が進み2月後半価格から据え置きもしくは+5円程度の値上げがあると予測。

**新 断
鉄ダライ
高価買取します**

(株)エイワ産業

〒577-0536 大阪府市浪川町2-2-2
電話 06-7891-8180
FAX 06-7891-8170

統計

2013年1月非鉄金属原料取り扱い統計結果 非鉄金属リサイクル全国連合会が発表

非鉄金属リサイクル全国連合会は、2013

年1月分の非鉄金属原料取り扱い調査統計